

管内の概要

旭川開発建設部は、北海道のほぼ中央に位置する4市17町2村からなる地域を所管しており、岐阜県に匹敵する広大な面積を有しています。

管内は、稲作を中心とした農業が盛んな地域であるとともに、豊かな森林資源にも恵まれ、家具、木材・木製品、パルプ・紙などの主要生産地にもなっています。また、動物の行動展示で有名な旭山動物園や美しい自然・農村景観を多く有することから、国内外から多くの観光客が訪れています。

○位置・気候

管内は、南北に224.4kmと細長い形状をしており、中央部には、北海道の屋根といわれる旭岳(2,291m)を主峰とする大雪山系、北には天塩山系と北見山系、南に夕張山系と日高山系が走行し、上川・名寄・富良野の各盆地を形成しています。河川は、北海道の母なる川・石狩川と、朔北の大河・天塩川が流れています。

気候は、冬季と夏季の寒暖差が大きい典型的な内陸性気候で、季節の移り変わりがはっきりとしています。

○面積・人口

面積は、10,619km²(令和4年10月1日時点 全国都道府県市区町村別面積調 国土地理院調べ)、十勝、オホーツクに次いで大きく全道の12.7%を占め、全国の面積に対して2.8%を占めています。管内の人口は478,765人(令和4年1月1日現在 住民基本台帳人口・世帯数 北海道総合政策部地域行政局市町村課調べ)で全道の9.2%を占め、そのうち68.5%が、旭川市に集中しています。

就業者総数は223,811人(令和2年国勢調査)で全道の9.5%を占めています。産業別の構成比では、第1次産業が8.4%、第2次産業が15.3%、第3次産業が74.2%、その他2.1%となっています。

○農業

農業では上川、名寄、富良野盆地を中心に耕地面積130,500ha(令和3年農林水産省 作物統計調査)あり、南北に200kmを超える細長い地域であることから、気候条件に差異があることを反映して、稲作・畑作・酪農・畜産など多彩な経営が行われており、各地域ごとの特色があります。

農家戸数は、6,555戸(令和2年世界農林業センサス)で、北海道全体の17.4%を占めています。

うるち米(ななつぼし、ゆめぴりか、きらら397、きたくりん、おぼろづき)、もち米の稲作を中心に、畑作の小麦、豆類、てんさい、ばれいしょ、そばと多種多様な野菜類(かぼちゃ、アスパラガス、トマト、ブロッコリー、メロン、スイートコーン、にんじん)が管内で栽培されています。酪農・畜産は、管内の北部や南部山間地を中心に展開され、生産物の付加価値向上への活動や安定的な粗飼料供給を目指す取組が行われています。また、米、牛乳、たまねぎ、清酒など農産物、農産加工品の輸出拡大の取組も行っていきます。

○林業

管内は広大な森林資源に恵まれています。令和3年度北海道林業統計によると、管内の森林面積は808,496haで全道の14.6%を占めており、このうち国有林は57.9%となっています。森林蓄積は118,370千m³で、全道の13.9%にあたり、主な樹種はトドマツ、エゾマツ、カラマツ類、カンバ類となっています。

また、きのこ総計の生産量は、6,003t(令和2年北海道特産林産統計)で、全道の35.2%を占めており、きのこの主要生産地となっています。

○商工業

工業は、令和3年の経済センサス(活動調査)によると、事業所数544か所(全道の10.7%)、従業員数12,593人(同7.8%)、工業出荷額3,067億円(同5.6%)となっています。

業種別の工業出荷額は、食料品1,048億円、パルプ・紙・紙加工品441億円、木材・木製品211億円、家具・装備品124億円で、これらの4業種で管内全体の59.4%を占め、典型的な資源立地型の構造になっています。

豊富な森林資源に恵まれていることから、木材・木製品やパルプ・紙・紙加工品などの木材関連製造業が中核の一つとなっています。中でも、旭川家具は優れたデザイン性と機能面から国内有数の地域ブランドとして定着しており、全国に販路を広げるとともに海外へも輸出され、特徴ある地場産業となっています。

商業は、令和3年の経済センサス(活動調査)によると、卸売・小売業は4,388事業所(全道の10.2%)、従業員数36,715人(同9.6%)、年間販売額1兆3,976億円(同8.2%)となっています。

○観光

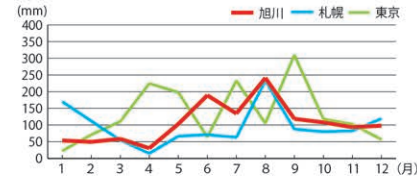
旭岳や十勝岳などからなる大雪山国立公園は美しい自然が多く残されており、周辺に層雲峡(上川町)、旭岳・天人峡(東川町)、白金(美瑛町)、十勝岳(上富良野町)などの温泉地を有し、旭山動物園や富良野のラベンダー畑、美瑛の丘の景観などの全国的にも人気の観光地があります。

また、美瑛町・上富良野町で推進する「十勝岳ジオパーク(美瑛・上富良野エリア)」は、2022(令和4)年1月に日本ジオパークの認定を受けました。まちづくり、教育、環境保全のための活動をしています。

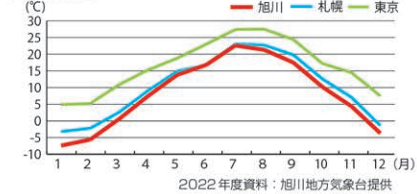
観光入込客数は、1,005万人(令和3年度北海道観光入込客数調査)であり、季節別では、大自然の景色、花や丘陵の織りなす風景などを楽しむことができ、カヌー・ラフティング・キャンプといった体験型観光も楽しむことのできる夏季に集中していますが、冬季も旭川冬まつりや層雲峡水瀑まつりなどのイベントに多くの人々が訪れており、富良野やトマムには、国内外からスキー、スノーボード客が訪れています。

また、雄大な自然景観を背景に道幅が広く、交通量や信号が少ない道路を快適に走れることからサイクリング等を楽しみに訪れる方も多くいます。

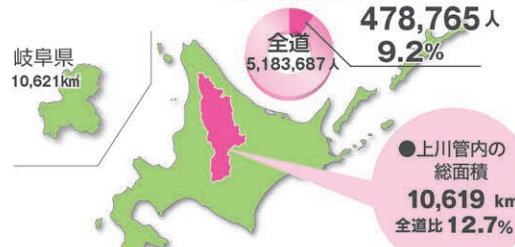
●降水量



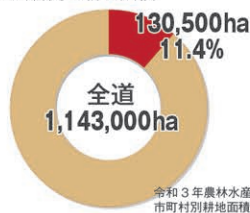
●平均気温



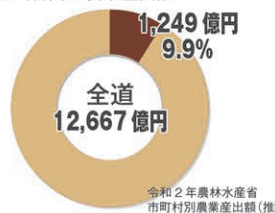
●上川管内の人口



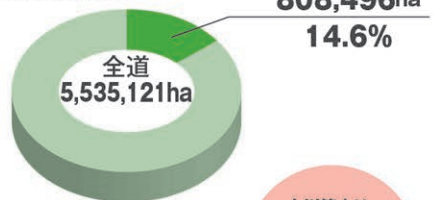
●上川管内の耕地面積



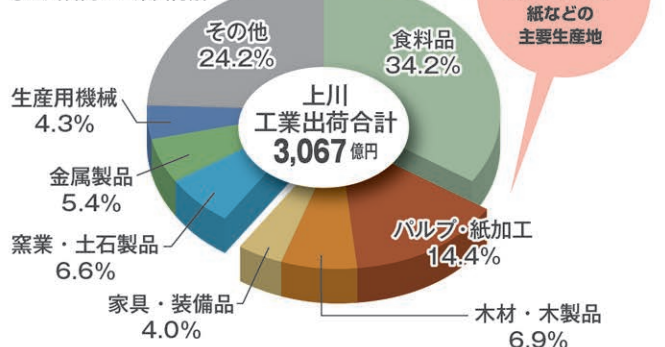
●上川管内の農業産出額



●上川管内の森林面積



●上川管内の工業出荷額



●上川管内の観光入込客数

